



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年11月2日

上場会社名 アイコム株式会社 上場取引所 東・大  
 コード番号 6820 URL <http://www.icom.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福井 勉  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 大野 健治 TEL 06-6793-5301  
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日 配当支払開始予定日 平成24年12月4日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	11,130	△4.6	299	△57.6	261	△44.3	150	△49.4
24年3月期第2四半期	11,661	9.0	706	348.3	469	531.3	298	4,809.6

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △207百万円 (-%) 24年3月期第2四半期 △325百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	10.18	—
24年3月期第2四半期	20.13	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	50,330	45,999	91.4
24年3月期	51,212	46,355	90.5

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 45,999百万円 24年3月期 46,355百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
25年3月期	—	10.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,050	2.0	1,440	10.2	1,580	3.5	1,100	0.4	74.23

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 有

④ 修正再表示： 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年3月期2Q	14,850,000株	24年3月期	14,850,000株
25年3月期2Q	31,583株	24年3月期	31,470株
25年3月期2Q	14,818,448株	24年3月期2Q	14,818,652株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されております業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間は、国内におきましては、復興需要による景気の下支えは続いているものの、欧州における景気の低迷や中国市場の減速により、企業の生産活動が弱まっており、景気は足踏み状態となっております。また海外におきましても、欧州の債務問題を背景にした先進国経済の減速が新興国経済にも波及しており、世界経済の動向は一段と不透明感を増しております。

このような状況のなか、当企業集団におきましては、国内の復興需要による陸上業務用無線通信機器販売に注力し、また海外におきましても、米国の無線通信方式のナローバンド化に対応する陸上業務用デジタル無線通信機器の販売促進を行ってまいりましたが、欧州市場の冷え込みとアマチュア無線市場の低迷により、前年同期比で減収となりました。

損益面では、国内工場における生産工程の見直しや、設計段階での海外部材採用によるコストダウン及び米ドル建て部材の調達率向上による原価低減等に取り組んでまいりましたが、減収による影響や為替相場における円高の影響の他、試験研究費の増加により営業利益、経常利益、四半期純利益とも前年同期比で減益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は111億3千万円と、前年同期に比べ5億3千1百万円(△4.6%)の減収となりました。また営業利益は2億9千9百万円と、前年同期に比べ4億7百万円(△57.6%)の減益となり、経常利益は2億6千1百万円と、前年同期に比べ2億7百万円(△44.3%)の減益、四半期純利益も1億5千万円と、前年同期に比べ1億4千7百万円(△49.4%)の減益となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

#### ① 日本[当社、和歌山アイコム㈱、アイコム情報機器㈱]

日本セグメントにおきまして、景気停滞の影響によりアマチュア用無線通信機器の販売が低迷するなか、国内における復興需要向けデジタル簡易無線機器等の販売が好調に推移し、また東南アジア等におきましても低価格な携帯型無線機器等の販売が売上高を下支えいたしましたことから、外部顧客に対する売上高は64億8千8百万円(前年同期比0.3%増)となりましたが、試験研究費等の増加により、営業利益は2億2千9百万円(前年同期比46.8%減)となりました。

#### ② 北米[Icom America, Inc.、ICOM CANADA HOLDINGS INC.、ICOM DO BRASIL RADIOCOMUNICACAO LTDA.]

北米セグメントにおきまして、ICOM CANADAの子会社化や、米国における無線通信方式のナロー化にともなう買い替え需要等により、一般向け陸上業務用デジタル無線通信機器の販売は増加しましたが、パブリックセーフティ向け陸上業務用無線通信機器の販売が振るわず、また為替相場におけるドル安円高の影響や販売費及び一般管理費の増加の影響もあり、外部顧客に対する売上高は35億7千6百万円(前年同期比11.9%減)、営業利益は1億2千9百万円(前年同期比26.3%減)となりました。

#### ③ ヨーロッパ[Icom (Europe) GmbH、Icom Spain, S.L.]

ヨーロッパセグメントにおきまして、ユーロ圏の債務問題はヨーロッパ全体の経済に影響してきており、無線通信機市場におきましても全てのカテゴリーの無線通信機器販売に影響を与えており、また長引くユーロ安の影響により売り上げが減少しましたことから、外部顧客に対する売上高は3億6千8百万円(前年同期比20.6%減)となり、1千7百万円の営業損失(前年同期は4百万円の営業損失)となりました。

#### ④ アジア・オセアニア[Icom (Australia) Pty., Ltd.、Asia Icom Inc.]

アジア・オセアニアセグメントにおきまして、アマチュア用無線通信機器の販売低迷もありましたが、CB無線機等の陸上業務用無線通信機器や、海上用無線通信機器の販売が好調に推移しましたことから、外部顧客に対する売上高は6億9千6百万円(前年同期比4.2%増)となりました。しかし品目別売上の変動による売上総利益率の低下と販売費及び一般管理費の増加により、営業利益は7千9百万円(前年同期比7.5%減)となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の概況は、次のとおりであります。

#### ① 資産

総資産は前連結会計年度比8億8千2百万円減少し、503億3千万円となりました。

主な内訳は、子会社であるIcom America, Inc.の土地・建物の取得等による有形固定資産の増加5億6千8百万円、たな卸資産(合計)の増加4億7千7百万円、破産更生債権(投資その他の資産その他に計上)の増加4億5千3百万円、投資有価証券(投資その他の資産その他に計上)の増加3億6千万円及び信託受益権(流動資産その他に計上)の増加2億円等の増加要因と、受取手形及び売掛金の減少17億1千8百万円及び現金及び預金の減少12億8千6百万円等の減少要因によるものであります。

② 負債

負債合計は前連結会計年度比5億2千6百万円減少し、43億3千万円となりました。

主な内訳は、退職給付引当金の増加6千7百万円等の増加要因と、未払法人税等の減少2億2千6百万円、未払金（流動負債その他に計上）の減少1億7千4百万円及び買掛金の減少1億5千9百万円等の減少要因によるものであります。

③ 純資産

純資産合計は前連結会計年度比3億5千5百万円減少し、459億9千9百万円となりました。

主な内訳は、四半期純利益による1億5千万円の増加要因と、為替換算調整勘定による減少3億1千8百万円、剰余金の配当による減少1億4千8百万円、その他有価証券評価差額金による減少3千9百万円等の減少要因によるものであります。以上の結果、自己資本比率は90.5%から91.4%に上昇いたしました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、下期に新製品の市場投入が集中することもあり、現時点では平成24年5月18日公表の業績予想を据え置いております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更が、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	27,543	26,257
受取手形及び売掛金	4,804	3,085
有価証券	199	99
商品及び製品	3,004	3,441
仕掛品	61	78
原材料及び貯蔵品	2,304	2,327
その他	1,510	1,780
貸倒引当金	△18	△17
流動資産合計	39,410	37,053
固定資産		
有形固定資産	7,024	7,593
無形固定資産	202	182
投資その他の資産		
その他	4,629	5,598
貸倒引当金	△53	△96
投資その他の資産合計	4,575	5,501
固定資産合計	11,802	13,277
資産合計	51,212	50,330
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,386	1,226
未払法人税等	410	183
賞与引当金	406	402
製品保証引当金	41	36
その他	1,250	1,033
流動負債合計	3,495	2,883
固定負債		
退職給付引当金	739	807
その他	621	640
固定負債合計	1,361	1,447
負債合計	4,857	4,330

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,081	7,081
資本剰余金	10,449	10,449
利益剰余金	29,709	29,711
自己株式	△102	△102
株主資本合計	47,136	47,139
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△20	△60
為替換算調整勘定	△760	△1,078
その他の包括利益累計額合計	△781	△1,139
純資産合計	46,355	45,999
負債純資産合計	51,212	50,330

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	11,661	11,130
売上原価	7,051	6,627
売上総利益	4,610	4,502
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	8	48
給料及び手当	932	965
賞与引当金繰入額	135	124
退職給付引当金繰入額	71	60
試験研究費	1,300	1,475
その他	1,454	1,528
販売費及び一般管理費	3,903	4,203
営業利益	706	299
営業外収益		
受取利息	114	111
受取配当金	5	7
投資有価証券売却益	0	—
補助金収入	40	7
その他	28	62
営業外収益合計	189	188
営業外費用		
売上割引	67	77
為替差損	343	134
その他	16	14
営業外費用合計	426	226
経常利益	469	261
特別利益		
固定資産売却益	1	2
特別利益合計	1	2
特別損失		
固定資産売却損	1	—
固定資産除却損	1	1
特別損失合計	2	1
税金等調整前四半期純利益	467	262
法人税等	169	111
少数株主損益調整前四半期純利益	298	150
四半期純利益	298	150



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	298	150
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△60	△39
為替換算調整勘定	△563	△318
その他の包括利益合計	△623	△358
四半期包括利益	△325	△207
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△325	△207

(3) 継続企業の前提に関する注記

当該事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当該事項はありません。